

事業例⑪

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、
公共施設への再生可能エネルギーの導入や公用車のEV化の推進

分野 まちづくり

事業説明

いの町の目指す脱炭素による将来ビジョンとして、「子どもたちに持続可能で豊かな自然を」というテーマを掲げ、町の資源を活かした再エネの導入によるエネルギーの地産地消や省エネルギーの推進により、ゼロカーボンシティいのを目指します。

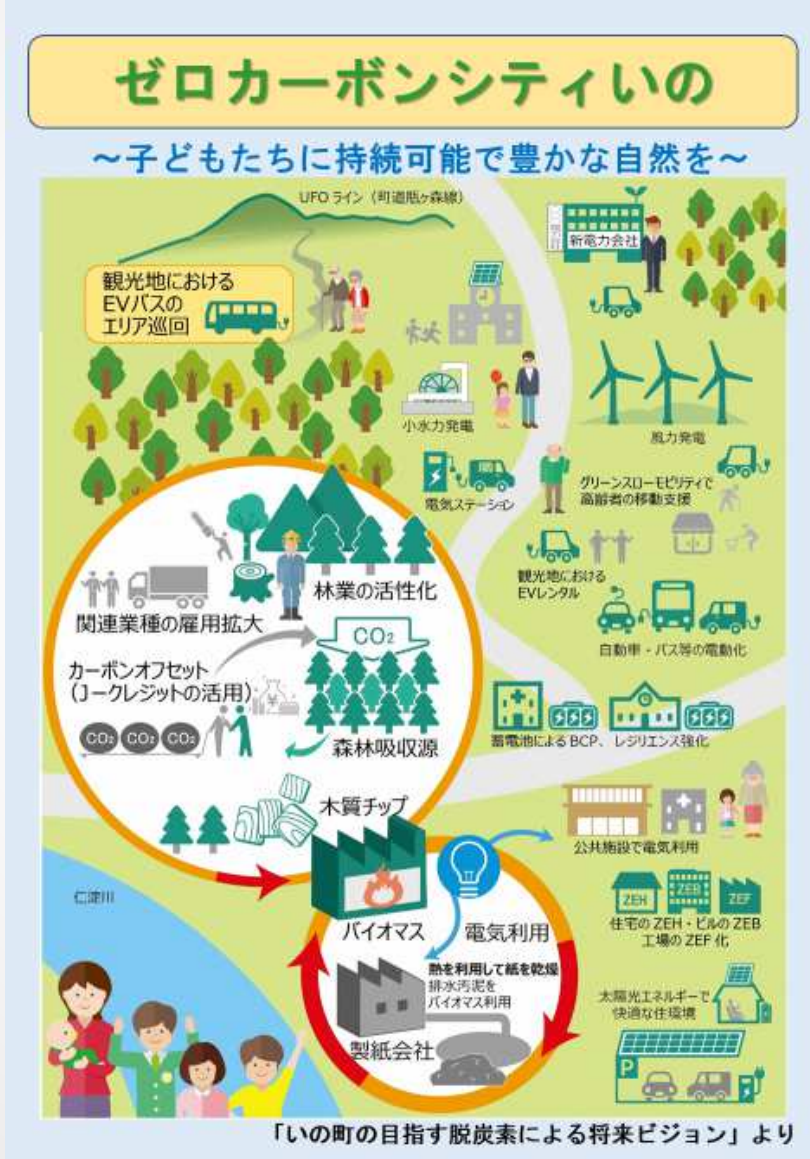
ゼロカーボンシティ実現のための基本目標は下記のとおりであり、この取組では、公共施設への再生可能エネルギーの導入や公用車のEV化を推進しています。

“ゼロカーボンシティいの” 実現のための基本目標

2050年の脱炭素社会を目指して、自然や人といった地域の資源を活かし、環境・経済・社会的向上に資する温暖化対策を、様々な主体の連携と協働により推進することで、地域が抱える課題の解決に向けて、以下の3つを基本目標とし取り組みます。

- 持続可能なエネルギーへの転換
- 森林吸収源対策の推進
- 脱炭素化による産業振興

いの町地球温暖化対策推進実行計画（区域施策編）より



「いの町の目指す脱炭素による将来ビジョン」より

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

8 働きがいも
経済成長も

11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

13 気候変動に
具体的な対策を

15 陸の豊かさも
守ろう

例：日産「サクラ」（軽自動車）



例：日産「リーフ」（普通車）

